

平成 29 年度観光振興事業功労者表彰について

公益社団法人日本観光振興協会（本部：東京都港区 会長 山口範雄）は、平成 29 年 6 月 9 日（金）に、東京プリンスホテルにて開催する第 54 回通常総会の会場にて、観光振興事業功労者を表彰いたします。

平成 29 年度の観光振興事業功労者は、以下の 12 名となります。

- 北海道 しのだ まさかず
篠田 政一 氏（享年 71 歳）一般社団法人すすきの観光協会会長
- 東北 やまぐち たかこ
山口 隆子 氏（73 歳）やまがた女将会顧問
- 関東 にしやま たかし
西山 孝 氏（77 歳）元寺泊観光協会会長
てづか ひでお
手塚 秀男 氏（80 歳）塩原温泉観光協会顧問
- 中部 わたなべ こういち
渡邊 幸一 氏（66 歳）南知多町観光協会相談役
ほりぐち けんいち
堀口 賢一 氏（享年 71 歳）元社団法人谷汲観光協会会長
- 関西 いのうえ よしお
井上 良夫 氏（67 歳）公益社団法人びわこビジターズビューロー常務理事
きばた ただゆき
木畑 忠幸 氏（85 歳）一般社団法人福知山観光協会三和支部 支部長
- 中国 むくだ まさお
椋田 昌夫 氏（70 歳）公益社団法人広島県バス協会会長
- 四国 ふじもと まさたか
藤本 正孝 氏（63 歳）公益財団法人高知県観光コンベンション協会副会長
- 九州 あかし ひろよし
明石 博義 氏（81 歳）元公益社団法人福岡県観光連盟会長
かばきの たつみ
樺木野辰巳 氏（77 歳）元宮崎個人タクシー「フェニックス会」代表

※年齢は表彰式日を基準とし、故人は享年時としています。
※略歴・功績等は、別紙を参照ください。

平成 29 年度（第 54 回）通常総会等概要

日時・場所	平成 29 年 6 月 9 日（金）東京プリンスホテル		
(1) 通常総会	15:00~16:00	2 階	プロビデンスホール
(2) 第 168 回理事会・報告	16:00~16:30		〃
(3) 観光振興事業功労者表彰式	16:30~16:45		〃
(4) 情報交換会	17:00~18:30	2 階	マグノリアホール

【北海道支部】



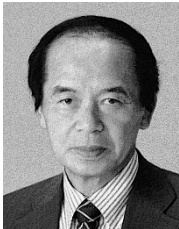
しのだ まさかず (故人)
篠田 政一 (享年 71 歳)

平成 9 年～ すすきの観光協会理事
平成 10 年～ " 専務理事
平成 17 年～ " 副会長
平成 18 年～ " 会長

功績概要

すすきの観光協会の理事に就任以降、専務理事、副会長を歴任し、東京以北最大の歓楽街「すすきの」地区の観光宣伝活動、観光客の誘致促進等に尽力した。会長就任後は、すすきの観光の発展のため、その統率力と実行力で各事業を推進し「すすきの祭り」、「すすきのアイスワールド」を札幌地区代表とするイベントに発展させるとともに、行政及び観光関係各機関と連携を深め、北海道・札幌市とも協調を図ってきた。さらに、増加する海外観光客に対応するため、通訳の配置や英語表記など、受入環境の整備に努めている。

【関東支部】



にしやま たかし
西山 孝 (77 歳)

昭和 58 年～ 寺泊観光協会副会長
平成 12～20 年 " 会長

功績概要

平成 23 年 10 月に長岡市寺泊にオープンした「トキと自然の学習館」開設に向けて佐渡市との朱鷺の譲受等の交渉・調整に尽力。平成 13 年より桜の苗木を植える活動を開始し、2000 本の植樹を実施。寺泊の海岸に自生する海浜植物の保護活動に熱心に取り組み、絵葉書「寺泊海岸に咲く花」を作成、寺泊に咲く海浜植物を広く紹介。

【中部支部】



わたなべ こういち
渡邊 幸一 (66 歳)

平成 7 年～ 南知多町観光協会副会長
平成 15 年～ " 会長
平成 23 年～ " 相談役
平成 27 年～ 知多半島観光事業協会会長

功績概要

南知多町観光協会山海支部長、副会長、会長を歴任、町の観光振興に尽力した。観光施設の保護及び観光宣伝を積極的に展開し、県内外からの観光客誘致に務めた。会長退任後も相談役として地域振興に力を注いでいる。平成 28 年には知多半島観光事業協会を設立、日本版 DMO 候補法人として地域の観光活性化を図るなど積極的な活動を行っている。また、愛知県ホテル・旅館生活衛生同業組合理事長他多くの要職を兼務し、中部地域への観光客誘致に貢献している。

【東北支部】



やまぐち たかこ
山口 隆子 (73 歳)

平成 10～14 年 天童市観光事業審議会委員
平成 8～13 年 やまがた女将会会長
平成 13 年～ やまがた女将会顧問

功績概要

卓越した見識と指導力により草創期から山形県観光振興に尽力。県内温泉旅館の女将に呼びかけ「やまがた女将会」を結成し、初代会長として率先して官民一体となって展開している「観光キャンペーン事業」に参画、「くるたび旬のおもてなし」の精神を会員と共に実践、他の模範として活躍している。山形新幹線開業・新庄延伸に際しては請願陳情等に参加し、観光大使的な役割を果たす。私財を投じて開館した「広重美術館」は地域文化の振興にも寄与するとともに、山形県の観光振興にも貢献している。

【関東支部】



てづか ひでお
手塚 秀男 (80 歳)

昭和 32～平成 9 年 塩原温泉旅館組合理事
平成 17～22 年 塩原観光協会会長
平成 22 年～ 塩原温泉観光協会顧問
平成 9～10 年 塩原温泉旅館協同組合理事長

功績概要

昭和 32 年に塩原温泉門前地区が大火に見舞われ、実家である旅館坂本屋も全焼。若くして旅館に戻り地域の復興に尽力した。観光協会及び旅館協同組合の役員として、長年に渡り組織の強化及び誘客宣伝に献身的に取り組む。観光協会では平成 17 年から会長職に就き、観光従事者の知識レベル向上を目的とした「観光マイスター学院」や中学生の総合的学習の一環として首都圏でのキャンペーンに参加させる「早春キャンペーン」など新たなイベントを構築した。

【中部支部】



ほりぐち けんいち (故人)
堀口 賢一 (享年 71 歳)

平成 11～24 年 谷汲観光協会会長
平成 24～25 年 " 顧問
平成 20～25 年 岐阜県観光連盟監事
平成 24 年～ 谷汲ゆり園相談役

功績概要

観光客の減少傾向が続いていた揖斐川町谷汲地区で、平成 16 年に「全国門前町サミット 2004in 谷汲」の開催に観光協会会長として指導力を発揮、サミットを成功に導いた。サミット開催経験をいかし「谷汲門前街並づくり委員会」を発足。地域住民も巻き込んだ「おもてなし活動」や多彩なイベントなどによる観光再興に取り組んだ。また、地元の有志が作り上げた谷汲ゆり園をブラッシュアップするため「谷汲ゆり園遊会」を開催し、新たな観光資源として定着させた。

【 関 西 支 部 】



いのうえ よしお
井上 良夫 (67 歳)

平成 20 年～ びわこビクターズビューロー理事
平成 25 年～ " 常務理事
平成 25 年～ 志賀観光協会会長代行
平成 25 年～ 大津市国際親善協会理事

功績概要

昭和 48 年、琵琶湖畔において「BSC ウォータースポーツセンター」を開設以来、一貫してマリンスポーツの普及と青少年の健全育成に貢献、観光やマリンスポーツ振興団体での要職を務め、滋賀の観光振興において主要な役割を担ってきた。びわこビクターズビューローにおいては、前身の滋賀県観光連盟から会員として参画し、滋賀の最大の観光資源である琵琶湖をステージに内外からの誘客に尽力するとともに、琵琶湖を体験活動の場とした修学旅行の誘致促進を推進している。

【 中 国 支 部 】



むくだ まさお
棟田 昌夫 (70 歳)

平成 25 年～ 広島県バス協会会長
平成 25 年～ 広島県観光連盟副会長
平成 25 年～ 広島電鉄代表取締役社長

功績概要

地域とともに成長し、地域社会の発展に寄与することを常に念頭に積極的に発言・提言を行い、速やかに実行に移す行動派のオピニオンリーダーである。広島県バス協会会長としては、「のりやすい、わかりやすいバス交通」の実現を目指し、運行情報をリアルタイムに利用者に提供するバスロケーションシステムなど、様々な施策を打ち出している。広島県観光連盟副会長としては、観光振興と観光を通じた地域活性化に力を注いでいる。また広島電鉄社長としては、公共交通運輸事業を通じて地域の観光振興に大きく貢献している。

【 九 州 支 部 】



あかし ひろよし
明石 博義 (81 歳)

平成 15 年～26 年 福岡県観光連盟会長
平成 16 年～22 年 福岡観光コンベンションビューロー理事長
平成 25 年～27 年 日本観光振興協会評議員
平成 20 年～ 西日本鉄道相談役

功績概要

福岡県観光連盟会長や福岡県観光審議会会長として、福岡県観光の総合的な振興を図るとともに、日本観光振興協会評議員としてその職責を果たした。また、21 年の長きにわたり、西日本鉄道役員として鉄道・バスによる旅客運送事業を推進し、九州島内高速バス路線網の拡充を行う等、福岡県の観光基盤の整備に大きく貢献した。さらに、九州・アジア経営塾の理事長兼塾長として次世代のリーダーの育成に力を注ぐほか、在福岡フランス名誉領事として日仏間の交流を推進し両国の友好親善に寄与した。

【 関 西 支 部 】



きばた ただゆき
木畑 忠幸 (85 歳)

平成 7～12 年 三和町観光協会副会長
平成 12～18 年 " 会長
平成 18 年～ 福知山観光協会三和支部支部長

功績概要

長年にわたり組織の長として新たな観光資源の開発、掘り起こしに努め、地域の観光マップを発行して三和町の観光 PR を行い、市外にも広く情報発信をするなど三和町の知名度向上、組織の発展に尽力した。三和の観光スポットの紹介に貢献するとともに、地域住民とも連携して観光事業の運営に深く関わり、献身的な活動を続けた。4 千人を集客する三和地域最大のイベント「三和ふれあいフェスティバル」や「みわ夏まつり」、「うぶやの里フェスタ in みわ」の実行委員長として指導的役割を担い、地域活性化の中心的存在として活躍した。

【 四 国 支 部 】



ふじもと まさたか
藤本 正孝 (63 歳)

平成 14 年～ 高知県観光コンベンション協会理事
平成 16 年～ 高知市観光協会副会長
平成 17 年～ 高知県旅館ホテル生活衛生同業組合理事長
平成 17 年～ 全国旅館生活衛生同業組合理事

功績概要

全国旅館生活衛生同業組合理事長及び高知県旅館ホテル生活衛生同業組合理事長として、組員相互の連携を密にして事業運営並びに組員の指導育成、生活衛生の整備、施設の向上に尽力している。高知県観光コンベンション協会のインバウンド担当の副会長として海外の商談会やセールスへの参加等により高知県のインバウンド対策に協力するなど、高知県そして四国の観光振興に大いに貢献してきた。また、「リョーマの休日」キャンペーン、「志国高知 幕末維新博」の開催など、高知県の観光施策に協力している。

【 九 州 支 部 】



かばきの たつみ
樺木野 辰巳 (77 歳)

昭和 45 年～50 年 アサヒタクシー
昭和 50 年～55 年 宮崎交通
昭和 58 年～平成 25 年 宮崎個人タクシー「フェニックス会」代表
平成 15 年～25 年 宮崎個人タクシー「シェルトン会」代表

功績概要

40 年以上の長きにわたり、タクシードライバーとして「おもてなし」の心をもって観光客を迎えることを実践され宮崎県内のタクシー業界のサービスの向上に多大な功績を残した。観光客を案内する際は、快適な旅の演出・構成を自ら考え、お客様が宮崎の旅を満足するよう心掛けるとともに、案内をしたお客様へ夫婦で毎年約 5, 100 枚もの年賀状を送る等アフターケアにも力を注ぎ、宮崎県のイメージ向上と観光発展に多大な貢献をした。また、「おもてなし」の実践者として講演会等の依頼も多く、「おもてなし」の普及に尽力された。